# 本校の第26次研究について

## 本校の研究

令和4年 ~令和6年 【第25次研究】

生涯をとおして自ら学ぼうとする 子供を育てる授業の在り方

【第26次研究】

令和7年~

子供も教師も一人一人の個性が光る・生きる教育実践を目指して

~多様な子供たちを包摂するこれからの特別支援教育の在り方~

## 子供も教師も一人一人の個性が光る・生きる教育実践を目指して ~多様な子供たちを包摂するこれからの特別支援教育の在り方~

#### ICT機器の活用

学びや生活をよりよくするために、有効に ICT 機器を活用できる力の育成

キャリア教育の充実

自身の成長や課題と育き合い、よりよい生き方

を考える力の育成

### 輝く子供

地域との連携、地域資源の活用

自立活動の充実

自身の障害や障害特性と向き合い、学習や生活

をよりよくしようとする力の育成

地域や社会に積極的に参加し、人どの関わりの 申で豊かに生る力の育成

#### 多様な実態の子供を包摂する授業作り

障害の種類や程度を超え、全ての子供が共に学び高 め合える授業の実現

#### やる気重視!

教師一人一人が抱く研究課 題に果敢にトライできるグ ループ研究の取職

#### 学び重視!

情報製信と情報交換の場を 通した、お互いが高め合え る教育集団の形成

### 輝く先生

#### 担任が中心!

担任の指導を支える校内体 制の整備と、過去の研究成 果物の整理等を通した時間 の余白の生成

#### 実践重視!

事例研究や授業研究を申心 に据えた、仮説検証型から 仮製生成型の研究方法

#### 第26次研究でめざすもの

- 全ての障害のある子どもが学校や社会で生き生きと学び生活できることを目指し、多角的で具体的な視点から教育実践研究に取り組む。
- 子供の成長を支える教師が自己の研修課期と向き合い、子供の変容から自己の実践の成果を実感して指導への活力を得られる教育実践に取り組む。

#### 社会的背景





障害の重い方を 中心として社会 参加が進みにく い現状

#### 校内の現状と課題

知的障害の重い 知的障害以外の 子供や自閉症の 子供の在籍率の 子供への指導や 维加 授業の悩み

学習評価の在り 方の検討の不十 分さ

キャリア教育を 充実させたい思 いと実際の指導 で感じる難しさ

## 背

特別支援教育が 対象の児童生徒 の増加と実態の 多模化

日々変化する時 代や最新技術へ の対応と新たな 指導内容

教師の志願者減 少と若手を中心 とした離職者の 増加

## 第26次研究のテーマ設定の背景

子供も教師も一人一人の個性が光る・生きる教育実践を目指して

~多様な子供たちを包摂するこれからの特別支援教育の在り方~

## 社会的背景

特別支援教育 が対象の児童 生徒の増加と 実態の多様化 日々変化する 時代や最新技 術への対応と 新たな指導内 容

教師の志願者 減少と若手を 中心とした離 職者の増加 障害の重い方 を中心として 社会参加が進 みにくい現状

## 第26次研究のテーマ設定の背景

子供も教師も一人一人の個性が光る・生きる教育実践を目指して

~多様な子供たちを包摂するこれからの特別支援教育の在り方~

## 校内の現状

知的障害の重 い子供や自閉 症の子供への 指導や授業の 悩み

知的障害以外 の障害を有す る子供の在籍 率の増加

学習評価の在 り方の検討の 不十分さ 

## 第26次研究のテーマ設定の背景

- ・学校(子供、教師)を取り巻くたくさんの社会的背景
- ・解決が必要なたくさんの校内の課題
- ・教師の負担感への対応



## 第26次研究でめざすもの

- ○全ての障害のある子どもが、学校や社会で生き生きと学び生活できること を目指し、多角的で具体的な視点から教育実践研究に取り組む
- ○教師一人一人が自己の研修課題と向き合い、子供の変容から自己の実践 の成果を実感して指導への活力を得られる実践中心の研究に取り組む

## 第26次研究における取組

子供一人一人が輝くことを目指した教育実践の蓄積と成果の検証

ICT機器の活用

キャリア教育の 充実



輝く子供

自立活動の充実

地域との連携と地域資源の活用

多様な実態の子供を包摂する 授業作り 教師一人一人が輝くことを目指した研究方法の見直しと校内体制の整備

### やる気重視!

教師一人一人が抱く研究 課題に果敢にトライでき るグループ研究の取組



### 学び重視!

情報発信と情報交換の場 を通した、お互いが高め 合える教員集団の形成

### 担任が中心!

担任の指導を支える校内 体制の整備と、過去の研 究成果物等の整理を通し た時間と気持ちの余白の 生成.

### 輝く先生

### 実践重視!

事例研究や授業研究を中心に据えた、仮説検証型から仮説生成型の研究方法

## 各研究グループのテーマ

子どもの表現力を豊かにする、発達段階を踏まえたICT機器の活用

子供一人一人の学びと生活を支える自立活動の指導の充実

~チームで捉える行動の背景と指導の方向性~

地域とともにある附属特別支援学校を目指して

~地域における学びの実践を通して、成果と課題の整理~

子ども一人一人の自己理解を高めるキャリア教育の充実

~キャリアパスポート(SSB)シートの工夫と活用~

児童生徒一人一人が見通しをもって意欲的に取り組むことができる授業づくり

~自信につなげる自己選択・自己決定支援~